

第3回委員会 12月13日

©2022 YHAL, YITP, Kyoto University

京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室

第4回 6A

第2回 7月29日

小委員会準備のための

小委員会
若木 委員長の報告
原子力研究所の現状
原子力研究所の将来
原子力研究所の将来

原子力研究整備計画案

最終目標にたいする方針をきめ、すべての整備計画をこの方針にしたがって立てる。ただし、計画は最初から細部を固定することなく、年の経過と共に諸種の事情を考へ入れて補正していく。実施方法も、各実施段階の進行に応じ、整備の実現状態をみた上で、最も適当と考えられるものとする。

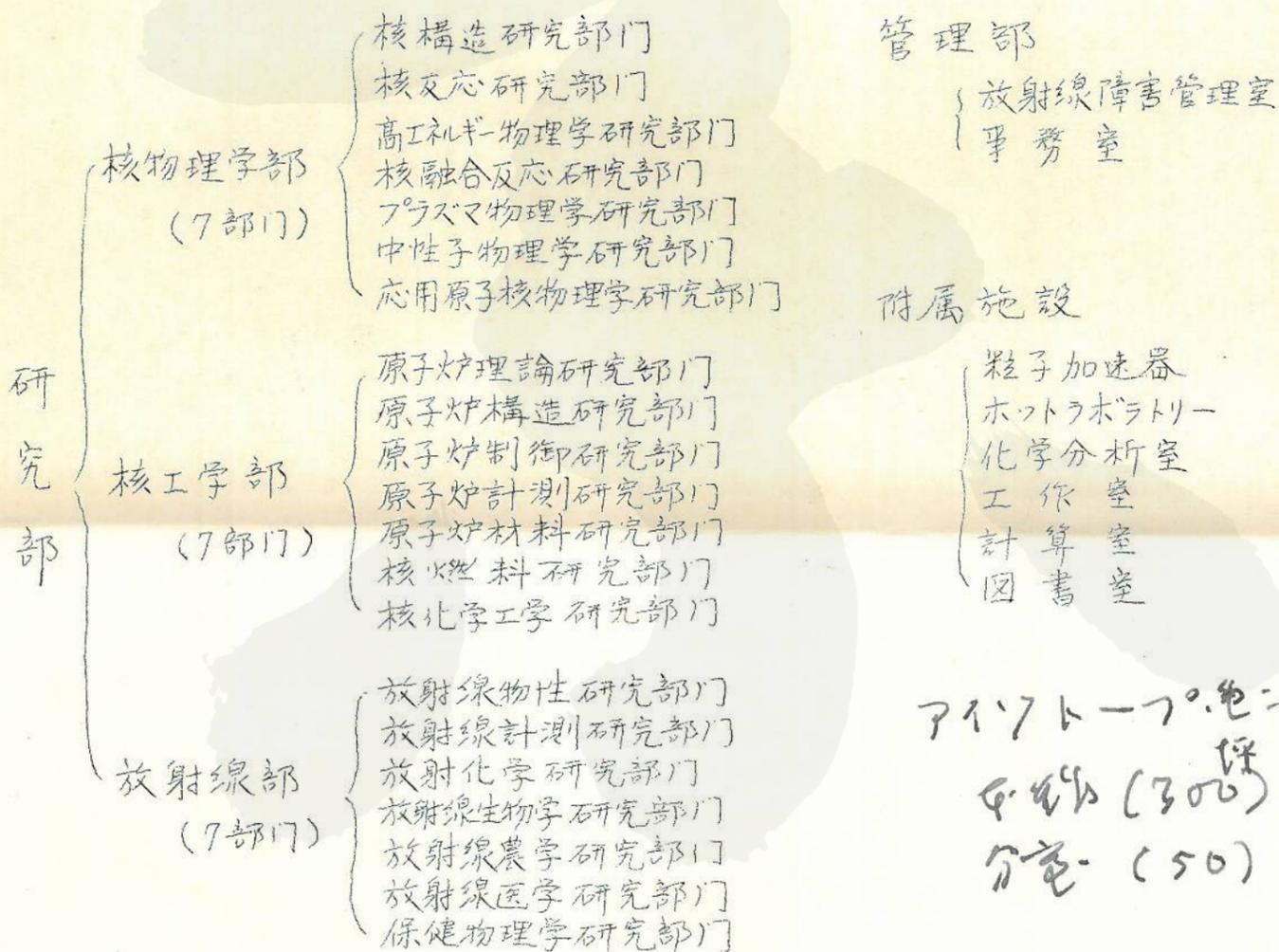
1 最終目標としては総合的な研究所の設置を考える。

その規模としては別記のような三部からなる研究所を考える。ただし、これは一応の規模をしめすので、今後更に研究の上、順次計画を補正して固定する。

2 差当りの実施方針としては、つぎの方法をとる。

適当な時期に化学研究所の原子力関係部分を工学研究所に統合し総合研究所の形式を実現する。統合の時期は諸種の事情を考へいれ、この委員会で充分研究の上、決定する。それまでの間は化研、工研のままでこの整備計画の方針にしたがって設備および施設を整備する。

総合研究所の内容案



アット-70.絶-4-(化研)
400 (300) 比較
分電 (50) 画